

eduroam JPからのお知らせ

令和元年度 NIIサービス説明・相談会
国立情報学研究所

「会議向け期間限定eduroamアカウントの 試行」終了



- 2019/12末をもって停止
 - 加入機関が少ないところに利便性をアピールするために開始
 - eduroam JP加入機関の増加に伴うアカウント保有者の増加
 - ゲストアカウント発行の手段の充実
 - 認証連携IDサービスのゲストアカウント発行機能の利用
 - 代理認証システムの利用
 - 加入機関が主催/共催の場合はeduroam JP提供のシステムを利用してゲストアカウントを発行してください
- 学術総合センター内の一橋講堂および会議室については、
認証連携IDサービスのゲストアカウントの制限外として開放
 - 発行した機関のAPからのみ利用可能なゲストアカウントも、
学術総合センター内の一橋講堂と会議室で利用可能です

サーバ証明書検証の推奨

- eduroam接続時のサーバ証明書検証

- パスワードでの認証時に認証サーバの証明書の検証が重要
 - クライアント証明書による認証の場合は問題なし
- 検証しないと.....
 - 訪問先でうっかりeduroamの偽基地局につないでしまうかも
 - そしてMS-CHAPv2の脆弱性によりパスワードが漏れるかも

- 対策

- 所属機関の信頼できるAPの元で端末の接続設定と接続確認
 - 訪問先で初めて接続すると万が一偽基地局につないでしまうかも.....
 - 接続が上手くいかない時の問題の切り分けにも影響
- サーバ証明書の検証を行う設定とする
 - Windows、iOS、Mac OSについては、所属機関での接続設定時に正しい認証サーバの証明書を受け入れて(信頼して)おけば、次回以降は自動的にサーバ証明書が同一か検証し、異なれば接続拒否
 - AndroidはWebサイトの手順に従って手動設定するか、eduroam CATを利用する(CATはAndroid以外でも設定の簡素化に有効)
 - 接続設定Android編：https://www.eduroam.jp/supplicant_android

eduroam CAT利用の推奨

- GÉANT 提供のeduroamへの接続設定を半自動化するツール
 - 各機関の担当者が自機関用のプロファイルを作成
 - サーバ証明書を検証する設定を入れることができる
 - 検証対象のサーバ証明書のFQDNと、CA証明書が必要
 - 利用者により安全で簡単な接続設定方法を提供できる
 - 利用者はOSごとに合わせた手段でプロファイルを手・インストール
 - Windows, Android：専用アプリ
 - iOS, Mac OS：ブラウザ経由
 - 手動での設定と比べると利用者にとっても楽
 - プロファイル作成には管理用Webインタフェースへの招待が必要
 - eduroam JP担当にご連絡いただくと、招待メールをお送りします
 - eduGAIN参加済みの学認参加IdP経由、もしくはSNSアカウントでの認証が必要です(GoogleとかFacebookとか)
 - 代理認証システムと認証連携IDサービスの共通プロファイルは作成済
 - 詳しくはこちら：https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/hx2_AQ

eduroam基地局マップリニューアル



- **GÉANT提供の基地局マップのフォーマットが更新されます**
 - 緯度、経度に加えて、**高度や範囲の表現が可能**
 - GÉANT側は**11/30**に完全切り替え予定
 - 基地局マップをご提供いただいている加入機関様は新フォーマットへの更新をお願いいたします
 - 加入機関で基地局マップをご提出でない機関はこの機会にご作成ください
 - 基地局マップの提出は義務です
 - 提出はeduroam JP申請システムから行えます
 - eduroam JPでは**2019年11月29日 15時**提出分をもって切り替えます
 - ちなみに**11/30**は土曜日です
- 新マップに関する作成ガイドとテンプレートは以下をご参照ください
 - eduroam基地局マップのフォーマット変更について
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/AwDxAg>

情報交換用Slackスペース開設

- 情報交換用フォーラムとしてSlackのスペースを開設
 - 例えば、eduroamに利用する製品の選定、システム設定、効果的な運用方法、その他技術的ノウハウ等の情報交換etc.....
※eduroam JPへのお問い合わせを受ける場ではありません
- 参加資格
 - eduroam JP加入機関の機関責任者および技術担当者
 - 上記以外でeduroamの運用に携わっている教職員
 - eduroam JPへの加入を検討中の機関の教職員
 - 研究目的や技術的にeduroamに興味のある教員や研究者
- 参加をご希望の方はeduroam JP担当までご連絡を！
 - 招待メールをお送りします
 - 参加された方はメンバーの招待が可能です
 - 上記参加資格に該当する方がいらっしゃいましたら、ご招待ください

お問い合わせ先

eduroam JPの詳細については以下を参照ください
<http://www.eduroam.jp/>

eduroam全般のお問い合わせ、
eduroam CATのご利用希望、
Slackへの参加希望については
eduroam JP担当まで
eduroam-office@nii.ac.jp

Shibboleth IdPバージョン4に向けて

- ▶ v4.0(年明けリリース予定)で名前空間のフラット化が強制され、プレフィックスありの(v2由来の名前空間を使用した)設定ファイルが使用できなくなる
- ▶ v3.4ではフラット化していないとDEPRECATEDのwarningとしてログに出力
 - ▶ v3.4系の最新版でチェックしてください
- ▶ フラット化についてはこちら
 - ▶ <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/F4Z7AQ>
- ▶ その他にもDEPRECATEDのwarningとなる対象が複数あり、v4.0では使えなくなる
 - ▶ 影響が大きいものとしては、<Dependency>要素は内容によって<InputAttributeDefinition>と<InputDataConnector>に変更が必要
 - ▶ 詳細は本家参照:<https://wiki.shibboleth.net/confluence/x/PgLKAg>
 - ▶ 変更のある要素の置き換え方法へのリンク等含めて記載
 - ▶ v4.0準備としてwarningが出なくなるまで設定ファイルを修正することを推奨
- ▶ Java 11以上必須、v3で使っていたTomcat 7はv4では非対応となります

フラット化およびDEPRECATED対応の学認テンプレート
配布中



UPKI電子証明書発行サービス 利用料金について

- 令和2年度のサービス利用料金は、変更予定ありません
 - 消費税相当額の増分について、ご負担をお願い申しあげます
 - サービス利用料金の額は、「UPKI電子証明書発行サービス利用細則」をご確認ください
 - 料金の基準となる「構成員数」を含め、現在の登録情報はUPKI申請システムにて確認できます
 - なお、「構成員数」の基準にも変更はありません